

# ありのままの自分を認める

## 思春期ふれあい体験学習・保健講座

村では、鮫川村次世代育成支援行動計画「村民がまめにこぞって子育て支援プラン」をもとに「子ども・夢・みんなが育つ子育ての村」を目指しています。

今月号では、平成15年度から実施している「思春期保健事業」をお知らせします。

### ■目的

年代ごとの事業や、その他の学校行事、学校生活などを通して、生命の大切さが理解でき、自尊感情を育み、自分や他者を尊重し、自ら考え行動できる大人へ成長できることを目指しています。

自尊感情：自分を好きで、自分を大切に、自分の存在を受け入れることをいいます。外見、性格、特技、長所短所、自分のもっている病気、ハンディキャップなど、すべての要素をまるごとひっくるめたありのままの「自分」を、自身で認めることです。

### ■福島県における 性感染症の現状と課題

福島県産婦人科医会で実施した性行動に関するアンケート調査によると、年齢別性交渉率は、18歳で45%と若い世代では減少傾向になっています。

県児童家庭課資料による人工妊娠中絶実施率(10代)の推移は、平成14年度の20.5%(全国ワースト3)をピークに減少傾向にあります。(「パーミル」＝女子人口千人に対する比率)

性感染症については、県内の医療機関で調査した結果、性器クラミジアが増加しています。性器クラミジアは、感染しても無症状で気づかない場合が多く、不妊症や子宮外妊娠の原因になることもあります。

このような性感染症は男女間のセクシャルネットワークで人から人へと網の目のように広がっています。体調がおかしいと思ったら、男性は

泌尿器科、女性は産婦人科を受診しましょう。  
早期発見、早期治療がとても大切です。感染が分かたらパートナーとともに治療し、完治するまで、通院しましょう。

### ■思春期保健事業(思春期ふれあい 体験学習・保健講座)

事業は、村内の小・中学生が、思春期に変化する自分の心と身体について理解し、生命の大切さや家族、異性との関わり方について考える機会を持ち、自分の心身の健康のために判断し行動できることを目的に取り組んでいます。

小学校5・6年生は、村内6組の赤ちゃんとお母さん、お父さんにご協力をいただき授業を実施。赤ちゃんを抱っこしたり、ミルクを飲ませたり、おむつ交換などを体験しました。お父さんやお母さんに子育ての質問をしながら生命の大切さを実感していました。

中学1年生は、「生命の誕生」をテーマに、助産師さんの協力を得て、妊婦体験や生命の重みについて認識を深めました。

3年生は、「性感染症」をテーマに学び、男女交際について素直に自分を表現し、気持ちを言葉で表わすことの大切さについて学びました。

中学2年生と県立修明高等学校鮫川校1・2年生は、奥羽大学口腔衛生学講座・車田文雄准教授を講師に、それぞれ講座を行いました。



みんなで悩みを共有する生徒(中学2年生)

中学2年生は、「思春期の心の特徴を知り、不安や悩みの解決方法を知ろう」をテーマに、事前アンケートを取り、みんなで悩みを共有しました。また、「気になる自画像」というエクササイズでは、他人から見た自分を肯定的に知ることができ、良い所を伸ばし、他人の良い所を見つけるスキルを磨きました。  
修明高校鮫川校1・2年生は「コミュニケーションスキルの向上」を

テーマにした講座と思春期保健相談を行いました。

生徒からはそれぞれ悩みがあることがわかり安心したことや「二人で抱えこまないで相談することが大切」ということが分かってよかったと言った感想が多くありました。「気になる自画像」では、グループを組み、ピア(仲間)カウンセリングの要素を組み込んだエクササイズが行われました。

次は、学習に参加した鮫川校生の感想です。

- ・少しですが、自分に自信がもてた。
- ・コミュニケーションの取り方が分かった。
- ・もつと人と話したいと思いました。
- ・もうちょつと自分を尊敬しようと思えました。
- ・自分自身のことがわかった。
- ・自分にも良いと思われるところがあるんだと知り自信がきました。

### ■自尊感情の変化

思春期保健事業の前後に、自尊感情についてのアンケートを実施しています。結果は、鮫川小、青生野小、鮫川中、修明高等学校鮫川校のいずれも、講座後の点数は高くなっています。

今回初めて実施した高校生の場合は、1年生は指標より男女とも低いですが、講座後は点数が高くなり、2年生は指標よりも事前、事後ともに高くなりました。

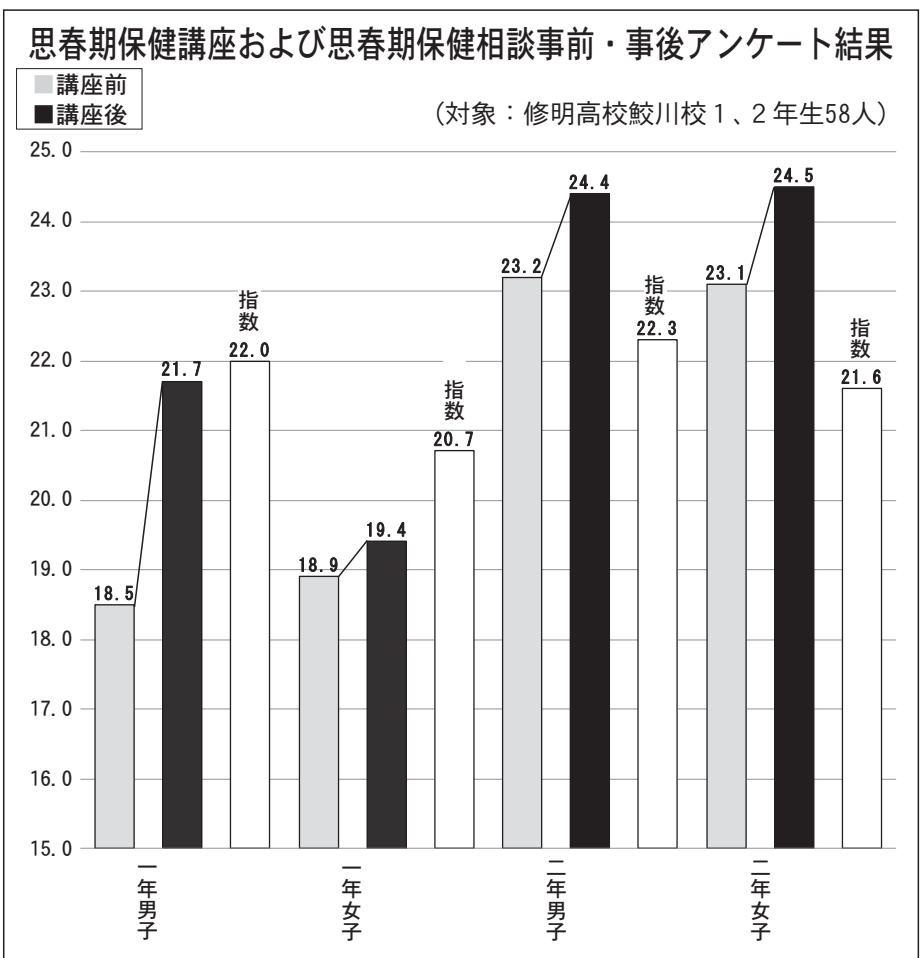
思春期保健講座を受講し、自尊感情が高くなったと判断できます。(グラフ参照)

### ■今後の思春期事業の展開

自立途中の思春期は、十分な健康に関する知識を持ち、行動することがとても大事な時期です。

思春期保健事業では、思春期のお子さんが何を求めているのかを知り、各学年に応じて自分を守るための知識、体験学習などを設けています。

情報化社会の今、情報は氾らんしています。あいまいだったり、断片的だったりして、正確な情報として伝わらなかつたりします。その結果、望まない妊娠や性感染症などでの健康を損なわないように、必要な情報提供が課題となっています。正しい情報を自己選択・自己決定



し、行動できる自立した大人へと成長してほしいと願っています。

思春期保健事業は、各学校主催、鮫川村が共催として連携し実施しています。

### ■相談窓口

からだのこと、性感染症のことなど1人で悩まないで相談しましょう。

### ■問い合わせ

村住民福祉課健康係  
☎ 49・3112



コミュニケーションスキルを学ぶ修明高鮫川校生